

## 17 すもも

### (1) 生産目標

品種・系統	10a当たり収量	精果率	目標階級	糖度
大石早生	2,000kg	80%	L～M果	10度
サンタローザ	2,000kg	80%	L～2L果	12度
ソルダム	2,000kg	80%	L～2L果	12度

### (2) 経営指標及び労働時間

#### 経営指標

項目	金額
① 出荷量(kg)	1,600
② 販売単価(円)※	425
③ 粗収益(円)	680,000

※ 令和2年～令和5年の平均単価

#### ア 販売価格の推移

(単位：kg当たり円)

年次	H26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5
単価	438	439	445	421	430	438	438	419	424	422

(H30まで：全農山口扱い、R1～：JA山口県扱い)

#### イ 経営費の内訳

(単位：10a当たり円)

費用	金額	備考
肥料費	64,935	
農業薬剤費	10,486	
※ その他経費は、販売状況等によって変動するため試算していない		

#### ウ 投下労働時間(10a当たり)

##### (ア) 月別労働時間

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2.0	4.0	2.0	12.5	33.5	33.0	65.0	2.5	8.0	4.5	17.5	21.5	206.0

##### (イ) 作業別労働時間

整枝 せん定	施肥	土壌 管理	受粉	新梢 管理	摘果	防除	収穫	その他	計
30.0	5.0	22.5	2.0	12.0	18.0	12.5	85.0	19.0	206.0



## (4) すもも作業

月	旬	生育状況	作業名	作業の内容
12 ～ 2 月		休眠期	整枝せん定 園内整備	主枝、垂主枝、側枝の確立、棚仕立ての場合、側枝配置や予備枝の設定に留意する。品種により枝の伸びが異なるので切り返しの程度をかえる。ソルダムは強め、サンタローザは軽いせん定とする。 明暗渠の整備、作業道、防除施設の点検整備。
3 月	上	催芽期	防風施設整備	防風樹の刈り込み、防風網の補強整備
4 月	上  下	開花期 落花直後 新梢伸長期 第二次生理的 落花期	晩霜対策 人工交配 芽かき 刈草	開花期には-2.7℃、幼果期では-1.1℃(30分間の危険限界温度)で被害を受ける。固形燃料、空缶を準備し、火点は低下する温度にもよるが40～50点/10アールを標準とする。 受粉樹より花粉を採集、開葯し毛ばたき棒等で側面か下向き果へ受粉する。 徒長枝となりそうな芽は早目にかぎとる。 草刈り後、敷草する。
5 月	上  中  下	果実小指大 果実肥大期  新梢伸長期 硬核期(早生)	摘果  追肥 捻枝・誘引 仕上摘果	小玉品種は4～5cm、中玉品種は8～10cm、大玉品種は10～12cm間隔を目安に摘果し、1果当り葉数16枚以上とする。 年間施用量の10%程度玉肥として施用する。 捻枝、誘引して伸長をおさえる。 小果、奇形果、病害虫果など摘果する。

6	上 ～ 月	硬核期(中晩生)  早生種成熟	排水対策  夏季せん定 収穫	排水溝を十分整備しておく。  徒長枝の発生の多い部分では間引き、基部への日当りをよくする。  大石早生の収穫始期は果頂部が2～3分着色した頃より始める。
7	中  月	中生種成熟  晩生種成熟	収穫  草刈・敷草 収穫	サンタローザは果皮の80%が着色した頃、味を確かめて収穫する。果粉を落とさないように注意する。  梅雨明けに草刈りし、敷草として乾燥を防ぐ。  ソルダムは縫合線全体が紫色になり弾力が出てきた時とする。
8	上 月	花芽分化期	追肥 徒長枝抜き	年間施肥量の20%程度を礼肥として施用する。  不用な徒長枝をせん除する。
10	中 月		元肥	年間施肥量の70%程度施用する。特に有機質肥料は早目に施す。
11	上 ～ 月	落葉期	園内の清掃 土壌改良	落葉は全部集めて処分する。  深耕して有機物、燐酸、苦土石灰など施用して土壌改良を計画的に行う。

(5) 施肥基準

ア すもも（成木）10a 当たり施用量

施肥時期	時期別割合 (%)			成分量 (kg)			施肥上の注意
	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	
元肥（10月中旬～ 11月上旬）	70	100	70	7.0	8.0	6.3	(1)成木園10a当たり収量2,000kgを 基準とする。 (2)施肥量は肥沃地で10%減、やせ地 では20%増肥する。
追肥（5月中旬）	10	—	10	1.0	—	0.9	
追肥（8月上旬）	20	—	20	2.0	—	1.8	
計	100	100	100	10.0	8.0	9.0	

イ すもも（幼木）10a 当たり樹齢別施用成分量 (kg)

樹齢	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	施肥上の注意
1年生	3	2	2	(1)5年生までは10a当たり40本程度とする。
3年生	4	3	3	
5年生	5	3	4	

(6)すもも品種特性表

品種・系統名	原産地及び来歴	果実の特性	樹の特性	栽培上の注意事項	収穫期
ハニーローザ	茨城県つくば市 農生研機構 果樹研究所(現 農研機構果樹茶業研究部門) 育成 ホワイトプラムの自然交雑 平成8年8月 品種登録	果実重は40g余りで、円形で果頂部が やや凸となるが果径は整っている。 果皮の地色は緑黄色であるが、陽光面 は紅または黄紅色となる。 果肉はやや軟で、色は淡黄色で、果汁 が多く糖度は早生では特に高く、酸味 は少ない。 日持ちは中程度であるが完熟すると悪 い。	樹勢はやや強から強で、やや直立性 で枝は細い。 枝梢は細長く、発生は密で多く、短果 枝の着生は良く花芽の着生も多い。 花は単弁、白色で、花粉はあるが自 家結実性は低い。	自家結実性が低いので混植が 必要、ハニーハート、サンタロー ザ、ソルダムが適する。 結実が良いため着果過多となり 小果となりやすく、樹勢を維持す るためにも摘果を十分に行う必 要がある。	6月中・下旬
大石早生	福島県伊達郡保原町(現伊達 市) 大石俊雄氏 フォーサムを母として自然受粉 果より選抜 昭和27年 名称登録	果重は50g程度で紡錘形でやや円形 に近く、果頂はわずかに尖る。 果皮の着色はよいが収穫初期で地色 の緑色が抜けないうちに果頂より着色 する。 果肉は淡黄色で甘味は多く、酸が少な い。日持ちはあまりよくない。	樹勢は旺盛で若木のうちは直立性で あるが成木になると開張する。 枝梢の発生は粗く太く短果枝の形成 は若木時代は少ないが成木になると 短果枝、花芽の着生はよくなる。 花器の大きさは中位で花弁は白色花 粉はあるが自家結実性が低い。	自家不親和性が強いので混植 が必要、サンタローザ、ソルダム が適する。 結果過多による新梢の伸長悪化 に注意。ふくろみ病、黒斑病に 弱い。	6月中・下旬
サンタローザ	米国 バーバンク氏育成 1924年発表 我が国には大正末期導入	果実は60g程度となり、果皮は完熟す ると濃紫赤色となる。果肉は黄色で良好 、多汁で酸味が強く、甘味も多い。	樹勢はきわめて旺盛で直立性が強い 、結果樹齢に入るのが遅く7～8年を 要する。枝梢の発生は細くて多く、短 果枝の形成が少ない。自家結実性は あるが生理的落果をおこしやすく、生 産が不安定である。	窒素過多や密植、強せん定にな らないように注意する。混植品種 として大石早生、ソルダム、太陽 などがよい。ひやけ病に弱く、灰 星病にかかりやすい。	7月中旬
ハニーハート	茨城県つくば市 農生研機構 果樹研究所(現 農研機構果樹茶業研究部門) 育成 ソルダム×西田 平成9年7月 品種登録	果実の大きさは80～90g程度、果形は 円形で果頂部縫合線の反対側がわず かに突出する。 果皮は紅紫色となり、果肉は濃紅色と なる。 ソルダムより酸のぬげが早く、まるやか で優れた食味を有する。肉質は緻密 で果汁が多く、日持ち性も良好である。	樹勢は強く、樹姿は開張する。枝の発 生はやや多く、短果枝および花芽の 着生は良好である。	黒斑病の発生がわずかに認めら れる。 ハニーローザ、オザークプレミア 等の授粉樹の混植が必要である 。 結果過多では、小果や品質の低 下を招く。	7月中旬
ソルダム	米国 昭和40年 仙台市伊達家の 養種園でアメリカのコロンビア 大学ディーン博士を通じて導 入	果実は80～100g程度、果皮は厚く完 熟するとあめ色となり、果粉が多く、外 観は美しい。 果肉は鮮紅色でしまり、多汁で甘味が 強く、適度な酸味もあり、食味は良好で ある。	樹勢はきわめて旺盛で枝は太くよく伸 び開張性が強い。 枝梢の発生は少なく、短果枝の形成 がよく、花芽の着生が容易で花束状 短果枝となる。 花は白色で花弁はやや楕円形で大 石早生より大きい。自家不親和性であ り、人工受粉を要する。	ふくろみ病に弱い。 混植品種として大石早生、サンタ ローザなどがよい。	7月中・下旬